

令和六年度収蔵品修理報告

《松朝陽双鶴図》 円山応挙筆 二幅 絹本着色 安永八年（一七七九）

〔施工（株）半田九清堂〕

本作は、円山応挙の落款をもつ対幅の作品である。本紙には折れやシワ、カビ痕、肌裏紙の浮きなどが散見され、保存上支障をきたしていたため、解体修理を行うこととした。また、両幅ともに本紙から表装裂にわたって広範かつ色の濃いシミがあり、鑑賞性に著しく影響しており、修理によってこれが軽減されることが期待された。

（一）本紙の修理工程

- ① 修理前の状態を、通常光および赤外線撮影した。あわせてパッチテストで、絵具や汚れの定着具合を測定した。
- ② 表装裂から解体した本紙に、ドライクリーニングを行った。総裏紙を除去し、牛膠水溶液で剥落止めをした後、化繊紙越しに濾過水を塗布し汚れを吸い取るウェットクリーニングを行った。また中裏紙除去後にも、肌裏紙に楮紙を仮打ちし、汚れを写し取るクリーニングを行った。
- ③ 本紙表面に表打ちをしたのち、本紙裏面から布海苔抽出液を化繊紙越しに塗布し汚れを吸い取るウェットクリーニングを行った。
- ④ 肌裏紙（矢車で旧肌裏紙に近い色に染めた薄美濃紙）、増裏紙を打った。表装裂と本紙を切り継ぎにし、中裏紙、総裏紙を打った。

（二）表具のつくり

表装裂にはシミも見られるため交換も検討されたが、シミ以外は比較的健全であり、元使いとした。軸棒と八双は新調。巻緒・掛緒は白紫紅色綵組紐という印象の強い表装裂に似合う特殊なものだったため、（株）道明により復元紐を作成し、取り付けた。また新たに太巻芯を取り付け、桐材の印籠箱を作成した。

軸首は、黒漆に薄肉高蒔絵と朱金で雲龍文様を描いた特殊なものである。蒔

絵には剥離・欠損している箇所が散見されたため、（株）目白漆芸文化財研究所によって、クリーニング・接着・錆付けなどの処置を行い、元使いとした。

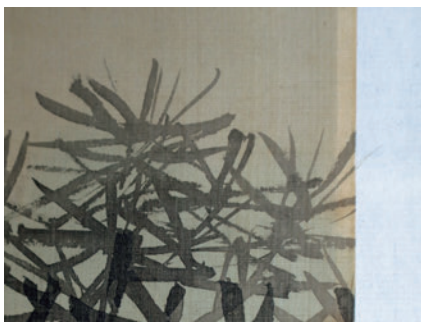
（三）所見

本作に散見されたシミは、東京藝術大学・塚田全彦教授による調査によって油性の物質を含んでいることが判明したが、詳細までは特定できなかった。シミの除去は作品の負担にならない範囲にとどめ、薬品を用いたシミ抜きは行わなかった。

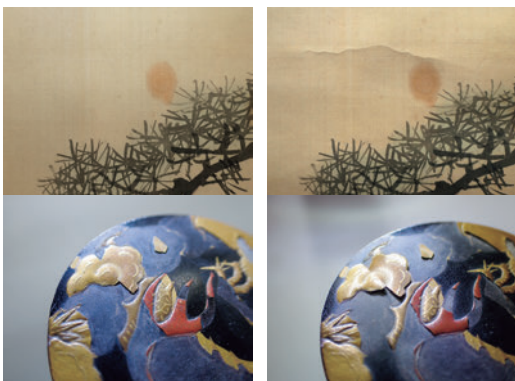
旧表装を解体した際、両幅ともに表装裂に隠れた本紙のフチの部分が現れ、そこに描写が続いていることが確認された。ただし、画面全体に掃かれている、墨を主とした淡彩は切り継ぎ部分で途切れていた。こうした状況は、絵の制作が切り継ぎ後も継続していた可能性を示している。

また本紙の裏面には、裏彩色やその痕跡が見られなかった。本作より三年早い年紀をもつ《牡丹孔雀図》（当館収蔵）のように、通常、応挙の絹本着色画には裏彩色が施される（本巻、上嶋・須澤報告を参照）。それが無いということとは、筆者の検討にあたって重要な情報となる。

（当館学芸部特別展課研究員 上嶋 悟史）



継ぎ部分の下から松葉の描写が現れたが、淡彩は途切れていた。



いずれも右が修理前、左が修理後。
上段：シワとシミが軽減された。
下段：剥離した蒔絵を修理した。

《三蟲之図》 横山華溪筆 一巻 紙本着色 江戸時代（十九世紀）

〔施工（株）岡墨光堂〕

本図は様々な動物、鳥、昆虫類を一巻に極彩色で描いた作品。有職文様裂の表紙や菊時絵の軸首、そして箱の仕様などから、宮中からの依頼により制作された可能性が高い作品である。作者は十九世紀の京都の絵師で、安政度京都御所の障壁画も手掛けた横山華溪（一八一六〜六四）。

修理前の状態については、全体的に強い巻き癖があり、また料紙の硬化による縦方向の折れと亀裂が多数生じ、亀裂が進行した部分は断裂および断片化が進行していた（図1）。さらに一部彩色部の亀裂や剥離、絵具の酸化による料紙の変色なども認められた（図2）。

また、作品の厚みが極めて厚く、かつ切断面からは積層構造も確認されたことから（図3）、事前調査の段階では、裏打ちが施されている可能性が考えられた。しかし、その後の調査において裏打ちの継ぎが認められないこと、かつ紙繊維検査や透過光による観察結果でも、裏打ちが施された確証が得られなかったことから、現時点では一枚ものの厚手の料紙を用いて制作された可能性が高いと判断するに至った。なお料紙は填料入り雁皮紙であることも判明した。

修理の工程については、当初の姿を保持していることを考慮し、卷子装を解体のち本紙を湿紙にて挟み、加圧乾燥にて巻き癖を修正、膠水溶液にて絵具層の剥落止めを行った。そして断片化した料紙を復位させ、帯状の楮紙で直に裏面より接合・補強し（図2）、あわせて料紙の欠失箇所には似寄りの紙にて補紙を施した。その後、厚手の美濃紙による肌裏と、楮と雁皮の混合紙による薄手の総裏を打った。表紙、題箋、見返し、軸巻紙、軸首、巻緒を元使いとしたが、八双、軸木を新調した。なお、修理後の体裁については、取扱いに注意が必要なものの、今後の保存性を考慮し、通常より太めの桐製太巻を作成（図4）、あわせて新調の桐野郎箱に納め、白羽二重の包装を添えた。

（当館学芸部企画課長 戸田 浩之）



図4 修理後巻姿



図1 料紙の亀裂と断裂（右は修理前、左は修理後）



図3 料紙の積層構造



図2 料紙の変色と補強の様子

《遠浦晴光図》 川合玉堂筆 一幅 絹本着色 昭和五年（一九三〇）

〔施工（株）光影堂〕

本作は秩父宮家伝来品。絹本着色の軸装、共箱で、蓋表に玉堂自題「遠浦晴光図」、蓋裏に「昭和庚午夏六月」の墨書と「玉堂芳題」の款記、「玉堂」朱文方印が捺されている。

第二次世界大戦の戦火により、同家の伝来品の多くに火災の爪痕がのこり、箱がすすけ、水をかぶり、作品が包裂の紫色に染まったものが多くみられるが、本作の共箱に煤などの損傷はなく、作品にも紫色の色移りはなかった。しかし、作品は表具裂と本紙の右側に大きく目立つ染み汚れがあった。これは一定の幅のシミが下へ行くほど面積が小さくなっているため、巻かれた状態で水損したと考えられる。

本紙縦は八〇・六cm、横は一六・〇cm、修理前の表装寸法も縦二mを超え、横も一八〇cm近い大幅である。画面は鮮やかな絵具が美しく、展示活用機会が多く見込まれる優品であるにもかかわらず、水損による表具のゆがみがひどく、本紙の染み汚れが顕著なため、展示ができない状況であった。そのため、今回の修理では、鑑賞を妨げる本紙の染みをできるだけ緩和し、表具を新調し、展示可能とすることを目的とした。

修理工程は次のとおり。全体調査と絵具接着力を確認するパッチテスト後、筆による軽微なクリーニングを行い、膠水溶液（1%）で剥落止めを行った。解体は水を用いず表装裂から取り外した本紙に、肌裏と増裏の除去前に、表から過水を噴霧して、裏面の吸取紙にすいとらせるクリーニングを三回行った。再度、必要箇所には剥落止めを行い、十分に乾燥させ、膠と顔料を確実に固着させた後、本紙を板に仮張り、裏から水分を与え裏打を除去した。なお、本紙は百年を経過していない料絹であるため、収縮率が大きいと予想され、肌裏の除去には大量の水は使わず、少量の水で少しずつ除去した。

旧肌裏除去後、新規肌裏の色味を比較検討し、画面が損なわれずに見える未染の美濃紙に決定した。なお、染み汚れは表装の染料が料絹まで染めてしまったものであり、水では除去し難く、またこれ以上の洗浄は恣意的になる可能性

があるとして行わなかった。

表装は新調し、中縁は従前の茶地の緞子から藍地の海気に変更した。また上下一文字・風帯は従前の霧囲気を損なわぬよう、薄茶地、丹醒地の緞子や金欄を使用した。肌裏は美濃紙、増裏は美栖紙、総裏は字陀紙を用い、十分に乾燥させたのち、仕立てを行った。軸首は象牙切軸を再使用、ただし、軸木と啄木は新調した。なお、旧軸木に「昭和五年五月作 東京 竹内盤長堂」の墨書が確認されたが、竹内盤長堂については未詳である。

保存のため太巻と桐製印籠箱を新調した。そして、アーカバイルボード製の被蓋箱に新旧箱を収納する仕様とした。なお、旧箱はひび割れがあったため修理を施した。

（当館学芸部調査・保存課主任研究員 清水緑）



図2 修理後



図1 修理前



図3 新規収納箱

《鳳凰菊文様蒔絵飾棚飾品》 三件および

《鶴桐文様蒔絵飾棚飾品》 一件 昭和三年（一九二八）

〔施工 山下好彦〕

大正十三年（一九二四）に昭和天皇・香淳皇后の御成婚の奉祝品として島田佳矣らによって製作された一對の飾棚《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》と《鶴桐文様蒔絵飾棚》にはそれぞれ二十数点ずつの棚飾品が付属する。いずれの棚飾品も当時第一線で活躍していた作家による優品であるが、一部の品は長く飾り置かれていたことによる塵埃の付着、経年による劣化や損傷等が見られ、今後の保存のために修理を順次進めている。本事業では次の四件の棚飾品の修理を実施した。

①迎田秋悦《蒔絵短冊色紙箱 岩濤文様（鳳凰菊文様蒔絵飾棚飾品）》（図1

a、b）

②戸島光孚《蒔絵香盆 岩に浪（鳳凰菊文様蒔絵飾棚飾品）》（図2）

③江崎栄造《玳瑁装身具 鴛鴦菊文様（鳳凰菊文様蒔絵飾棚飾品）》（図3）

④辻村松華《蒔絵手筈 菊花に鶴鴿文様（鶴桐文様蒔絵飾棚飾品）》（図4）

いずれの作品も現状維持修理を基本方針とし、クリーニングを中心に必要に応じて剥落止めや脱落部の接着を行った。また欠損部においては、刻苧漆などで充填し、鑑賞を妨げない程度に下地等で色調整を行った。①④は銀の置口が経年により錆びて黒色に変化し、触れると錆が剥落する部分も確認していたため、不自然にならない程度に錆の除去処置も行った。

①は色紙箱と短冊箱で一具をなし、どちらも薄い高蒔絵で意匠を表している。経年による汚れの付着が見られ、また短冊箱は蓋の角に一か所大きな欠損があり、木地が暴露して亀裂が入っていた。刷毛で埃を払った後、エタノールと綿棒を用いて丁寧にクリーニングを行うことで、漆の艶が戻り、金色が一段階明るく見えるようになった。欠損部には麦漆を含侵して剥落止めを行った

後、刻苧漆や漆下地で成形し、周囲に色を合わせた（図5）。置口はアセトトリル水溶液で拭き、浮いた錆は角篋を用いてある程度除いた。合口部は斑に錆が付着していたため、硬質シリコンゴムで錆のみを除去した。

②は金銀の蒔絵で見込に岩濤図を表した盆である。全体的に塵埃の付着があり、経年により漆の艶が失われていた。しかし見込の中央には、円形の香合が長い間飾り置かれてたことで漆の艶が残っており、艶の濃淡が目立って認められた。刷毛で全体の埃を払った後、エタノールを用いてクリーニング、最後に漆固めを全面に施したことで、艶の差異がほぼ解消された。縁金具の被せ銀は全体に錆びて変色していたが、見込の銀蒔絵の黒色変化との調和を図り錆の除去は行わず、浮いた錆が剥落して斑になった部分に油煙墨を差し（図6）、墨に含まれる膠成分で錆の剥落を止めつつ色調整を行う程度に留めた。

③は五点の鏡やブラシなどを収めた玳瑁製の装身具一式であり、本修理では玳瑁製の外箱のみを対象とした。過去に手入れた磨き粉の処置残りと思われる固着が入隅などに溜まっていたため、蒸留水と綿棒で丁寧に除去し、全体をクリーニングした。また経年による膠のゆるみにより、蓋の天板と側面の接合部に亀裂が生じていた（図7）ため、入念にテストを行った後、牛膠と魚膠を混合した約八〇％水溶液を亀裂に含浸させ、木梓と竹ひごで圧着して自然乾燥して接着した。天板部の金具も一部、玳瑁の収縮などにより浮き上がりがり確認されたので、取り扱い上の安全を考慮し、形状を整えて浮き上がりの端を膠で接着した。

④は平打紐がついた手箱である。付属の紐は劣化による粉塵化が激しいため、本修理を機に取り外し別置した。全体に塵埃の汚れが見られたので、綿布と綿棒で埃を除いた後、エタノールでクリーニングし、全体を漆固めした。また蓋表と側面に打損による蒔絵塗膜の欠損が点在していた。打損部には麦漆を含侵して塗膜を保護し、鑑賞上目立つ蓋表においては、下地等で色調整をした（図8）。銀の置口は、表面をアセトトリル水溶液で拭き、角篋と硬質シリコンゴムを用いて全体に錆をわずかに除去した後、今後の錆の進行を防ぐため希釈した透漆で摺漆を行った。

（当館学芸部企画課研究員 木村真美）



図1a 色紙箱 修理後



図1a 色紙箱 修理前



図1b 短冊箱 修理後



図1b 短冊箱 修理前



図2 修理後



図2 修理前



图3 修理後



图3 修理前



图4 修理後



图4 修理前



图5 欠損部(修理後)



图5 欠損部(修理前)



図7 蓋の亀裂部



図6 縁の被せ銀 錆剥落止め



図8 蒔絵塗膜の剝離部 (修理後)



図8 蒔絵塗膜の剝離部 (修理前)

2023 (令和5) 年度 皇居三の丸尚蔵館処置作品一覧

【館内修理】

[修理]

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
1	SZK002909	桂浜	鹿子木孟郎	昭和3年(1928)	紙、油彩
2	SZK002927	阿寒遠望図	上野山清貢	昭和12年(1937)	カンヴァス、油彩

[文化財本体(本紙)に触れる処置]

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
3	SZK001507	遼陽附近写生図	山本芳翠	明治37年(1904)	紙、水彩

[日常的な保全の処置]

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
4	SZK004959	昭和天皇・香淳皇后御肖像画(昭和天皇)	モハマド・シェイフル・イスラーム(Mohammad Syful Islam)	1973年	カンヴァス、油彩
5	SZK004959	昭和天皇・香淳皇后御肖像画(香淳皇后)	モハマド・シェイフル・イスラーム(Mohammad Syful Islam)	1973年	カンヴァス、油彩

[追加した処置(日常的な保全の処置)]

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
6	SZK001206	レース編置物「歌う鳥」	デザイン：イヴェット・コンテンプル/Yvette Contempré 制作：コレット・ヴァン・ステイヴォート/Colette Van Steyvoort	1974年頃	レース、枠：ステンレス

【館外修理】

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
1	SZK000011	小栗判官絵巻 巻15	伝岩佐又兵衛	江戸時代(17世紀)	紙本着色
2	SZK006165	刀 銘 兼定	兼定	室町時代(15～16世紀)	鉄
3	SZK006167	刀 銘 藤原氏房	藤原氏房	安土桃山～江戸時代(16～17世紀)	鉄
4	SZK006171	脇差 銘 横山上野大掾藤原祐定／備州長船住人	藤原祐定	江戸時代(18世紀)	鉄
5	SZK006162	短刀 銘 帝室技芸員菅原包則 86歳作	菅原包則	大正4年(1915)	鉄
6	SZK002821	鳳凰菊文様蒔絵飾棚	図案：島田佳矣	昭和3年(1928)	木、漆塗、蒔絵、螺鈿

寸法(縦×横、mm)	員数	処置内容	実施期間	担当者	備考
1237×1727	1面	画面クリーニングなど	2024年2月	加藤広樹	地方展開(北海道展)出品
925×1185	2面	絵具の浮き上がり接着など	2024年3月	加藤広樹	地方展開(北海道展)出品

寸法(縦×横、mm)	員数	処置内容	実施期間	担当者	備考
480×630	12面	変形修正、額の調整など	2023年10月	加藤広樹	地方展開(岐阜展)出品

寸法(縦×横、mm)	員数	処置内容	実施期間	担当者	備考
555×458	1面	額の調整など	2023年10月	加藤広樹	開館記念展第Ⅱ期出品
555×458	1面	額の調整など	2023年10月	加藤広樹	開館記念展第Ⅱ期出品

寸法(縦×横、mm)	員数	処置内容	実施期間	担当者	備考
391×460	1面	額クリーニング	2024年2月	加藤広樹	第1回展「いきもの賞玩」出品

寸法(縦×横、mm)	員数	処置内容	実施期間	担当者	備考
340×24994	1基	本紙修理・表具新調	2022年4月～2024年3月	岡墨光堂	宮内庁費事業
	1振	研磨、白鞘新調、鍔クリーニング	2023年4月～2024年3月	小野敬博	宮内庁費事業
	1振	研磨、白鞘・鍔新調	2023年4月～2024年3月	小野敬博	宮内庁費事業
	1振	研磨、白鞘・鍔新調	2023年4月～2024年3月	小野敬博	宮内庁費事業
	1振	研磨、白鞘・鍔新調	2023年4月～2024年3月	小野敬博	宮内庁費事業
505×1535×1560	1基	座金接着	2024年1月	山下好彦	

2024(令和6)年度 皇居三の丸尚蔵館処置作品一覧

【館内修理】

[修理]

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
1	SZK002911	秋晴	加藤静児	昭和17年(1942)	カンヴァス、油彩
2	SZK002937	菊花図	金山平三	昭和8年(1933)	カンヴァス、油彩
3	SZK002920	静物	清水良雄	大正14年(1925)	カンヴァス、油彩

[日常的な保全の処置]

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
4	SZK002974	綿花猫図	長澤蘆雪	江戸時代(18世紀)	絹本着色
5	SZK002901	唐家屯月下之步哨	山本芳翠	明治39年(1906)	カンヴァス、油彩

[追加した処置(日常的な保全の処置)]

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
6	SZK003307	初冬の日高連峰	坂本直行	昭和48年(1973)	カンヴァス、油彩
7	SZK003304	和歌「さくらたへ」	松本春子	昭和51年(1976)	彩箋墨書
8	SZK002989	秋山晚暉図	田崎草雲	明治15年(1882)	絹本着色
9	SZK003050	書状古筆手鑑(元宝器主管)	二条為藤ほか	平安～室町時代(12～16世紀)	紙本墨書
10	SZK001439	人物写真帖(1A-01)	大蔵省印刷局ほか	明治13年(1880)頃	鶏卵紙、写真、アルバム：総革装洋綴
11	SZK000175	陸海軍連合大演習	高橋源吉	明治23年(1890)	カンヴァス、油彩
12	SZK003257	秋草図	野口小蘆	明治30年代(19～20世紀)	絹本着色
13	SZK001294	神韻霊峰	岡田紅陽	昭和18年(1943)	ゼラチンシルバープリント
14	SZK002529	菊花図額		1910年頃	陶磁
15	SZK000153	明治二十七八年戦地記録図 第13面	山本芳翠	明治28～30年(1895-97)	カンヴァス、油彩
16	SZK002463	第五回内国勸業博覧会平面図	クーン・コモル商会	1903年	絹、印刷
17	SZK005054	日本貴紳殿舎計画図(二層樓南面)	伊藤平左衛門(9代)	明治32年(1899)	絹本着色
18	SZK005054	日本貴紳殿舎計画図(三層樓南面)	伊藤平左衛門(9代)	明治32年(1899)	絹本着色

【館外修理】

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
1	SZK005056	彦火々出見尊絵巻		江戸時代(17世紀)	紙本着色
2	SZK002981	菊花図簾屏風	生駒等寿	江戸時代(17世紀)	表：紙本金地着色 裏：紙本着色
3	SZK000716	酒伝童子絵巻		江戸時代(17世紀)	紙本着色
4	SZK000691	孔雀図	森徹山	江戸時代(18～19世紀)	絹本着色
5	SZK000590	天鷲絨友禪修学院離宮図掛幅	西村總左衛門(12代)	明治27年(1894)	天鷲絨、友禪染
6	SZK000610	天鷲絨友禪梅尾図掛幅	西村總左衛門(12代)	明治27年(1894)	天鷲絨、友禪染
7	SZK006166	太刀 銘 秀明謹作	堀井秀明	昭和7年(1932)	鉄
8	SZK006168	刀 銘 瑞泉源秀明謹作	堀井秀明	昭和8年(1933)	鉄
9	SZK006161	短刀 銘 高橋貞次謹作	高橋貞次	昭和19年(1944)	鉄

員数	寸法(縦×横、mm)	処置内容	実施期間	修理者	備考
1面	1060×1420	画面クリーニングなど	2024年7月	加藤広樹	第3回展「皇室の美術振興」出品
1面	685×615	絵具の浮き上がり接着など	2024年7月	加藤広樹	第3回展「皇室の美術振興」出品
1面	1030×1025	画面クリーニングなど	2024年9月	矢澤南歩	第3回展「皇室の美術振興」出品

員数	寸法(縦×横、mm)	処置内容	実施期間	修理者	備考
1幅	474×705	軸首の接着	2024年5月	加藤広樹	第1回展「いきもの賞玩」出品
1面	88.3×145.5	額の調整など	2024年7月	加藤広樹	地方展開(岐阜展)出品

員数	寸法(縦×横、mm)	処置内容	実施期間	修理者	備考
1面	440×590	吊り金具の取替え	2024年7月	加藤広樹	地方展開(北海道展)出品
1面	350×527	額クリーニング	2024年7月	加藤広樹	地方展開(北海道展)出品
1幅	1409×665	糊離れ箇所の再接着	2024年8月	加藤広樹	第3回展「皇室の美術振興」出品
1帖	393×540×132	糊離れ部分の再接着	2024年8月	加藤広樹	第3回展「公家の書」出品
1冊	404×295×77	金具の補修	2024年10月	加藤広樹	
1面	957×1500	キャンバスの張り調整など	2025年1月	加藤広樹	地方展開(新潟展)出品
1幅	2563×922	軸首の接着	2025年2月	加藤広樹	地方展開(山梨展)出品
1面	625×748	マットおよびヒンジの新調	2025年3月	加藤広樹	地方展開(山梨展)出品
1面	905×1130	額クリーニング	2025年3月	加藤広樹	第5回展「百花ひらく」出品
1面	600×965	額修理	2025年3月	加藤広樹	地方展開(岐阜展)出品
1幅	546×70×65	外箱のクリーニング	2025年3月	加藤広樹	地方展開(大阪展)出品
1面	1310×1350	マットおよびヒンジの新調	2025年3月	加藤広樹	地方展開(大阪展)出品
1面	1310×1350	マットおよびヒンジの新調	2025年3月	加藤広樹	地方展開(大阪展)出品

員数	寸法(縦×横、mm)	処置内容	実施期間	修理者	備考
6巻	巻1：323×5894 巻2：324×7348 巻3：323×5303 巻4：324×8180 巻5：323×11185 巻6：323×14024	調査・記録および一部解体	6か年のうち1年目	岡墨光堂	文化庁費事業
6曲1双	表：各1540×3600 裏：各1540×3604	調査・記録、解体、クリーニング、剥落止め	3か年のうち1年目	岡墨光堂	文化庁費事業
5巻	巻1：350×11792 巻2：351×12087 巻3：352×9504 巻4：351×10685 巻5：352×10063	調査・記録、解体、クリーニング、剥落止め	3か年のうち1年目	修美	文化庁費事業
2幅	各1587×890	調査・記録、解体、クリーニング、剥落止め、旧肌裏・補修除去	2か年のうち1年目	修美	文化庁費事業
1幅	3110×1150	全体調査および撮影、損傷地図作成	3か年のうち1年目	松鶴堂	文化庁費事業
1幅	3100×1150	全体調査および撮影、損傷地図作成	3か年のうち1年目	松鶴堂	文化庁費事業
1振	刃長714 反り14	研磨、白鞘・鍔新調	2024年4月～2025年3月	本阿彌道弘	文化庁費事業
1振	刃長669 反り14	研磨、白鞘・鍔新調	2024年4月～2025年3月	本阿彌道弘	文化庁費事業
1振	刃長236 反りなし	研磨、白鞘新調、鍔クリーニング	2024年4月～2025年3月	本阿彌道弘	文化庁費事業

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
10	SZK003077	碧瑠璃把犀角鞘刀子(法隆寺献納宝物)		奈良時代(8世紀)	鉄、ガラス、犀角
11	SZK000613	遠浦晴光図	川合玉堂	昭和5年(1930)	絹本着色
12	SZK003121	宇治川蛭蒔絵料紙箱・硯箱	飯塚桃葉(初代)	安永4年(1775)	木、漆塗、蒔絵
13	SZK000510	太平楽置物	海野勝珉	明治32年(1899)	銅、銀、金、合金、彫金、象嵌
14	SZK000009	旭日老松双鶴図	円山応挙	安永8年(1779)	絹本着色
15	SZK000612	三蟲之図巻	横山華溪	江戸時代(19世紀)	紙本着色
16	SZK002818	蒔絵手筈 菊花に鶴文様(鶴桐文様蒔絵飾棚 棚飾品)	辻村松華	昭和3年(1928)	木、漆塗、蒔絵
17	SZK002829	蒔絵短冊色紙箱 岩濤文様(鳳凰菊文様蒔絵飾棚 棚飾品)	迎田秋悦	昭和3年(1928)	木、漆塗、蒔絵
18	SZK002834	蒔絵香盆 岩に浪(鳳凰菊文様蒔絵飾棚 棚飾品)	戸島光孚	昭和3年(1928)	木、漆塗、蒔絵
19	SZK002842	玳瑁装身具 鴛鴦菊文様(鳳凰菊文様蒔絵飾棚 棚飾品)	図案：森田佳風 制作：江崎栄造	昭和3年(1928)	玳瑁
20	SZK000115	松桃仙禽図	瀧和亭	明治時代	絹本着色
21	SZK002974	綿花猫図	長澤芦雪	江戸時代	絹本着色
22	SZK000627	仁徳天皇難波宮居之図・中将試木本末之図	瀧和亭	明治時代	絹本着色
23	SZK002987	緋桜図	瀧和亭	明治初期	絹本着色
24	SZK000031	月夜帰牧之図	木島櫻谷	大正3年(1914)	絹本墨画着色
25	SZK002238	漁村之雪	寺崎廣業	大正3年(1914)	絹本墨画淡彩
26	SZK000079	鶴桃桜之図	結城素明	大正8年(1919)	絹本着色
27	SZK000148	義士隠栖	山元春挙	大正10年(1921)	絹本着色
28	SZK000144	雨霽	竹内栖鳳	大正13年(1924)	絹本着色
29	SZK000665	晴雪遠望・夏溪静修	杉浦俊香	昭和3年(1928)	絹本着色
30	SZK006057	花鳥之図	荒木寛畝	明治39年(1906)	絹本着色
31	SZK002553	扁額「寒香亭」	杉孫七郎	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
32	SZK000266	花房義質書	花房義質	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
33	SZK000267	行書漢文「凡為天下国家有九経」	花房義質	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
34	SZK000274	行書七言絶句「緑連曠野望茫茫」	青木周蔵	明治～大正時代 (19～20世紀)	紙本墨書
35	SZK000275	大字	大浦兼武	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
36	SZK000276	行書「惟信惟義」	大浦兼武	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
37	SZK000278	草書七言絶句	箕浦勝人	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
38	SZK000279	行書二行書	箕浦勝人	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
39	SZK000280	行書五言律詩「鞠躬朝鳳闕」	武富時敏	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
40	SZK000281	行書七言律詩	入江為守	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
41	SZK000282	行書七言律詩「翠巒石並引」	入江為守	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
42	SZK000285	行書七言絶句	元田肇	明治～大正時代 (19～20世紀)	絹本墨書
43	SZK000270	行書一行書「自有蒼蒼鑑赤誠」	高田早苗	大正5年(1916)	絹本墨書
44	SZK000271	行書七言絶句「恭賦遠山雪」	徳川達孝	大正6年(1917)	絹本墨書
45	SZK001673	蓮図賛	永井尚志	文久2年(1862)	紙本墨画

員数	寸法(縦×横、mm)	処置内容	実施期間	修理者	備考	
1点	犀角鞘刀子全長188	研磨、白鞘修理	2024年4月～2025年3月	小野敬博	文化庁費事業	
1幅	806×1160	本紙クリーニング、表具新調	2024年6月～2025年3月	光影堂	文化庁費事業 *別途報告記載	
1具	料紙箱：339×412×171 硯箱：237×260×57	箱新調	2024年7月～2025年3月	鈴鹿桐箱店	文化庁費事業	
1点	210×420×460		2024年7月～2025年3月	鈴鹿桐箱店	文化庁費事業	
2幅	各1264×699	解体、裏打替え、本紙クリーニング、紐新調、軸首の蒔絵剥離修理、太巻・箱新調	2024年8月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業 *別途報告記載	
1巻	348×7258	調査・記録、解体、クリーニング、剥落止め、肌裏打ち、太巻・箱新調	2024年6月～2025年3月	岡墨光堂	文化庁費事業 *別途報告記載	
1点	290×222×107	クリーニング、置口の錆除去、蒔絵層剥離の修理	2024年9月～12月	漆工文化財修復	文化庁費事業 *別途報告記載	
1具	短冊箱：393×95×44 色紙箱：241×215×46	クリーニング、置口の錆除去、欠損部の修理	2024年9月～12月	漆工文化財修復	文化庁費事業 *別途報告記載	
1点	246×337×22	クリーニング、見込部分の艶の調整	2024年9月～12月	漆工文化財修復	文化庁費事業 *別途報告記載	
1具	316×354×95	クリーニング、金具の剥落止め	2024年9月～12月	漆工文化財修復	文化庁費事業 *別途報告記載	
2幅	各1621×865	風帯鉛爆裂除去、軸木鉛爆裂除去、軸新調	2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	474×705	軸木鉛破裂除去、軸新調	2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
2幅	仁徳：1082×452 中将：1079×450		2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1455×723		2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1278×515		2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1140×409		2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
3幅	各1447×505		2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1657×913		2024年10月～11月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1385×423		2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
2幅	各1760×730		風帯鉛爆裂除去	2024年10月～2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業
3幅	各1283×569		軸木交換	2024年10月～2025年2月	修護	運営交付金事業
1面	344×970	解体、裏打替え、クリーニング	2024年11月～2025年3月	石川県文化財保存修復協会	文化庁費事業	
1幅	1450×715	軸木鉛破裂除去、軸新調	2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1270×655		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1340×660		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	375×525		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	375×500		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1230×435		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1230×425		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1220×425		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1580×545		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1530×558		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1355×398		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1210×425		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1240×425		2024年11月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1286×534		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業	

通番号	作品ID	作品名	作者名	制作年代	材質技法
46	SZK000228	和歌「新年雪」	徳大寺実則	明治45年(1912)	絹本墨書
47	SZK000234	行書七言絶句「早起整装朝紫宸」	三島中洲	明治時代	絹本墨書
48	SZK000249	和歌懐紙「新年同詠寒月照梅花応制歌」	東久世通禧	明治時代	紙本墨書
49	SZK001807	和歌詠草「嶺上亀」	久我通久	明治～大正時代(19～20世紀)	絹本墨書
50	SZK001808	行書七言律詩	渡辺千秋	明治～大正時代(19～20世紀)	絹本墨書
51	SZK000255	行書七言絶句	伊東巳代治	大正元年(1912)	絹本墨書
52	SZK000261	草書一行書	井上良馨	大正4年(1915)	絹本墨書
53	SZK001835	紺紙金泥般若心経	矢野甘泉(嶺雄)	昭和3年(1928)	紺紙金泥
54	SZK000298	行書七言絶句「送臘迎春七十回」	一木喜徳郎	昭和時代(20世紀)か	紙本墨書
55	SZK000572	寒山拾得図	狩野元信	室町時代	紙本墨画
56	SZK002237	鍾離権・岸水鳥・樹燕萱草図	狩野元信	室町時代後期	絹本着色
57	SZK002984	白衣観音菩薩像	照山元瑤	江戸時代(17～18世紀)	紙本淡彩
58	SZK004748	蓬萊図	狩野常信	江戸時代(17～18世紀)	絹本着色
59	SZK000002	海辺図	円山応挙	江戸時代(18世紀)	紙本着色
60	SZK002966	張飛図	円山応挙	江戸時代(18世紀)	紙本着色
61	SZK000626	春秋瀑布図	狩野探幽	江戸時代中期	絹本着色
62	SZK002988	秋山人家図・雪中人物図	浮田一恵	江戸時代(19世紀)	紙本着色
63	SZK000073	傲黄公望山水図	銭葵／胡公寿	清時代(1643)	絹本墨画
64	SZK004899	花卉図	蔣廷錫	清時代(18世紀)	絹本彩色
65	SZK000591	菊石竹図	八大山人	清時代(19世紀)	紙本墨画
66	SZK001601	楠公画像	賛・林羅山	江戸時代(17世紀)	絹本着色
67	SZK002993	山村行旅之図	川端玉章	明治25年(1892)	絹本着色
68	SZK000674	夏園新晴	中川黄山	昭和5年(1930)	紙本墨画
69	SZK000678	竹林高瀑	周肇祥	大正15年(1926)	紙本墨画
70	SZK004745	竹に闘鶏之図	瀧和亭	明治22年(1889)	絹本着色
71	SZK000596	花鳥図	伝小栗宗湛	室町時代(15～16世紀)	紙本着色
72	SZK002227	布袋唐子図	伝兆殿司／明兆	南北朝時代	絹本着色
73	SZK003016	布袋唐子図	伝狩野松栄	安土桃山時代(16世紀)	紙本着色
74	SZK000076	馬之図	円山応挙	天明7年(1787)	絹本着色
75	SZK000016	芦雁・朧月松図	円山応挙	江戸時代(18世紀)	絹本着色
76	SZK002992	曉鴉残月図	円山応挙	江戸時代(18世紀)	紙本墨画
77	SZK003247	団扇形人物花鳥図	柳沢淇園	江戸時代(18世紀)	絹本着色
78	SZK003258	大江千里像	渡辺華山	江戸時代(19世紀)	紙本墨画淡彩
79	SZK000082	小楠公画像竝記	藤田信	江戸時代か	絹本着色
80	SZK000088	牡丹図	伝趙昌	元～明時代(14世紀)	絹本着色
81	SZK000129	積翠	高島北海	大正3年(1914)	紙本墨画
82	SZK002230	馬図	伝雪舟	室町時代(16世紀)	紙本墨画
83	SZK000095	鷹図	武喬、宮本武蔵	江戸時代(17世紀)	紙本墨画
84	SZK004747	柿本人磨像	伝狩野正信	江戸時代(17世紀)	紙本淡彩
85	SZK000013	洞庭秋月図	駒井源埒	江戸時代(18世紀)	紙本着色
86	SZK000108	鷹獲雉子之図	伝武田信玄	江戸時代(17世紀)	紙本着色
87	SZK003013	春江洗馬之図	永井香浦	明治17年(1884)	絹本着色
88	SZK000086	花鳥之図	杉谷雪樵	明治22年(1889)	絹本着色
89	SZK000034	群猿之図	川端玉章	明治23年(1890)	絹本着色
90	SZK000022	木下閣	川端玉章	明治40年(1907)	絹本着色

員数	寸法(縦×横、mm)	処置内容	実施期間	修理者	備考
1幅	1195×400	軸木鉛破裂除去、軸新調	2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	1112×405		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	400×570		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	1301×413		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	1477×559		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	1525×525		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	1565×535		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	502×272		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
1幅	1270×428		2024年12月～2025年3月	半田九清堂	文化庁費事業
3幅	(山水1)1180×549 (山水2)1162×546 (寒山拾得)1157×533		2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業
3幅	各870×412	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	757×350	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1343×590	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	233×300	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1338×585	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
2幅	各1685×410	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
2幅	各1018×360	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1538×505	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1351×491	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1430×403	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	513×322	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1270×557	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	2492×1515	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	634×493	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1422×574	2025年2月	半田九清堂	文化庁費事業	
2幅	各804×298	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	398×490	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
3幅	各1070×460	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	562×788	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
2幅	各933×322	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
2幅	各1224×554	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1286×415	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	279×285	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	990×357	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1265×755	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1197×1902	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	443×271	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	975×442	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	379×503	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1192×581	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1148×496	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	1254×560	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	2166×1453	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	2274×1447	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	
1幅	860×1615	2025年2月～3月	半田九清堂	文化庁費事業	